

西建協だより

187号

2010年
2月



青梅労働基準監督署長賞（個人）受賞にあたって



平成二十一年十一月二十七日、羽村市生涯学習センターゆとりろぎ小ホールにて青

梅労働基準監督署・社団法人青梅労働基準協会・建設業労働災害防止協会東京支部西多摩分会・青梅地区プレス安全協議会・青梅福生地区安全衛生研究会主催の第十一回西多摩地区安全衛生大会において安全衛生表彰を受賞することができました。

来賓として東京労働局労働基準部安全課課長様、西多摩地区産業保健センター様のご出席を賜りました。東京労働基準部安全課課長より労働災害は関係者の努力により長期的には減少傾向を維持してきてが近年、増減を繰り返すなど着実な減少

昭和建設株式会社 藤本 祐一

には至っていない。一方、労働者の健康問題についてみると、定期健診における有所見率の増加や過重労働等による脳・心臓疾患及び精神障害等に関連した労災認定も後を絶たず、心身両面にわたる健康確保対策の充実が求められているとの事でした。労働安全衛生を取り巻く環境については依然として厳しい状況下にあります。建設業労働災害防止協会東京支部の安全指導者として、青梅労働基準監督署と同行する建設現場パトロールを通じて、管内建設現場・建設現場の安全衛生水準の向上に貢献できたことは非常に光栄に思っております。まずは、西多摩建設業協同組合の活動方針の安全衛生活動に従事させて頂いた事での受賞と感謝しております。

また、当社においても職員並びに協力会社と一体となって今までの体験を基に安全衛生活動を反映させた指導を行い、更なるステップアップを図り、事故撲滅に取り組む所存です。

最後になりますが、我々の現場で起る災害は、墜落・転落を始めとしてその殆どが過去に起きた災害の繰り返しであり、予見が可能な災害であります。その一方で、技術革新のスピードはコストの削減要求もあり今まで以上に加速すると思われ、今まで無かったような新たな災害が起こる可能性もあります。過去の災害から学び、現在及び将来に繋げていくためにも、法令遵守はもとより労働安全衛生マネジメントシステムやリスクアセスメントなどによる労働安全衛生活動の計画的・継続的・体系的な取組みの促進など産業社会に対応したより効果的な安全衛生活動を今後も展開していきたいと思っております。

下請企業の資金繰り対策に国が後押し

リーマンショック以降元請企業の倒産が相次ぐなか、下請企業の資金繰り対策として昨年7月にスタートした制度が「下請資金繰り支援事業」。国土交通省が下請企業の資金繰りに乗り出したのは初の試みとなるもので専門工事業団体からの期待も大きい。今回は、この事業を担うファクタリング会社の一つである株式会社建設経営サービス（略称KKS）の大八木勝彦社長に、制度の特徴や現状などについて話しを聞きました。

— どういう制度ですか

下請企業や資材業者の資金繰りの円滑化を図るために国土交通省が創設した制度で、下請企業等が元請企業から受け取った手形をファクタリング会社が支払期日前に買取するものです。下請企業等が負担する金利を軽減する措置とファクタリング会社のリスク負担を軽減する措置が取られた制度です。

— 利用のメリットはどこにありますか

まず銀行からの借入とは別に手形の早期資金化が図れる点です。特に新たな資金調達手段が確保できることは選択肢が広がるという点で大きいと思います。更に、この事業はファクタリング会社が手形割引とは違って銀行枠を使うことなく、ノンリコース（無担保裏書譲渡）で手形を買い取る点も大きなメリットになります。

— 手続面はいかがですか

新規登録後の手続きは、下請企業等が買取を希望する手形のリストとその手形のコピーをファクタリング会社にFAX送信し、審査を受け取ります。審査結果を受け取った後、申込

社長写真



「地域への広がり」が鍵と話す。建設経営サービス社長、大八木勝彦氏

「建設機械のハイブリッド構造機能と効果」講習会報告

西建協・若手経営者の会 小高 城司 (株)尾重機

去る平成21年12月2日、西建協・若手経営者の会によるコマツPC200-8Eハイブリッド構造機能と効果の研修会が行われました。今回の研修は、世界的に問題となっている地球温暖化に対する建設機械の燃費低減効果及び、CO2排出量の削減について、小松建設機販売（株）より講師を招き講習しました。講習内容は、ハイブリッド建設機械の特徴として、車体旋回動作により旋回減速時に発生するエネルギーを回収することにより、通常の建設機械がディーゼルエンジンのみで稼働するのに対して、ハイブリッド式は、回収したエネルギーをエンジン加速の電動アシストとして活用し、エンジンは燃費効率の良い回転数で作業ができ、通常機械と比べて、平均25%の燃費低減ができ、CO2の排出量削減が1時間当たり約10kgの削減が可能となり年間10.5t（杉の木748本分に相当する）CO2削減が期待できるそうです。（50年杉1本が年間吸収するCO2の量は約14kgだそうです。）このような素晴らしい建設機械が今後増えていくと感じましたが、ハイブリッド機械は大型建設機械だけのようです。我々は、市街地等の工事現場が多いため、小型のハイブリッド建設機械の誕生を早急に期待したいと感じました。今回の講習は、私たち建設業を営む者として、環境問題にも取組ながら仕事をしていかなければいけないと感じたことができ大変有意義な講習になりました。

また、助成等の手続きはファクタリング会社が行うので、下請企業等が手続きを行う必要はありません。

— これまでの実績はどうですか

12月末時点の当社の実績は、買取手形枚数が438枚、買取金額が約19億5千2百万円となっております。現在は1ヶ月間で4億円前後の買取を行っています。また、繰り返し利用される下請企業等が多いのも特徴です。

— 利用者の声はどうですか

一番多いのは、金融機関等で割り引いてもらえなかった手形を買い取ってもらえたので資金繰りの面で助かったというものです。また、ノンリコースで買い取ってもらえるので債権保全の面でも助かったという声も多いです。一方で、買取枠の制限により、買い取りに至らなかった場合、買取料が高くて良いのですべての手形を買い取って欲しいという声もあります。

— 今後の見通しは どうですか

残念ながら当制度の10年度予算は凍結されているため、今年3月までの取扱いは予定ですが、期限まではできる限り買い取らせていきます。

【会社概要】

商号株式会社建設経営サービス
代表者大八木勝彦
所在 東京都中央区築地5-5-12
設立 昭和62年
資本金15億円
事業内容・建設業を専門とした経営コンサルティング事業、ファクタリング事業、その他調査業務
URL: <http://www.kks-21.com>
【問い合わせ先】
金融・数量積算事業本部
電話03-3545-8562

◇ 受講生募集案内 ◇

日建学院認定校青梅校からの案内
 -合格のための受験準備講座-

- 2級建築士学科 学科コース
 2月より本講義が始まります。(本講義28回、サポート講義、各種模擬試験実施)
- 1級建築施工管理技士 学科コース
 2月7日「基礎講義」スタート(基礎から学ぶ総合学習で合格を目指す)
- 1級土木施工管理技士 短期集中コース
 3月11日「基礎講義」スタート(基礎講義、合格講座、直前講座、模擬試験他)
- 宅地建物取引主任者 本科コース
 3月3日(水)スタート

西多摩建設業協同組合が「日建学院認定校」として青梅教室を開講いたしますので、会員企業の皆様からの受講問合せ(受講申込)等の連絡をお待ちしております。

- * 詳細説明は随時致します。
- * 先ず下記までお問合せ下さい。

連絡先

青梅校(西建協)事務局 0428-22-6245 石川
 日建学院立川校 042-527-3291 担当:澤田

賛助会員PRコーナー No.18

弘和産業株式会社



平素より、西多摩建設業協同組合の皆様には格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は、昭和48年4月の創業以来、30年以上にわたり斜面防災関連製品の設計、製造、販売に携わり、業界の変遷と共に歩んでまいりました。

高耐久、高品質、安価を開発理念として数多くの製品を製造・販売し、お客様のご要望にお応えしております。

近年では、HDボルト、HDネットに代表される、溶融亜鉛メッキ+飽和ポリエステルで二重防錆されたHigh Durable(高耐久)で、防錆油やセメント等の化石資源を極力使用しない、環境にやさしく施工しやすい製品を開発しています。組合員の皆様によりよい製品をご提供できるよう、微力ながら努力させていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 野口 明

〒198-0023 東京都青梅市今井3-3-12
 TEL 0428-32-2811
 FAX 0428-32-2818

★各種製品紹介はHPをご覧ください。
<http://www.kouwa-industry.co.jp/top.html>

1 月 事 業 報 告

- 4日 まで「建設会館」休館
- 8日 広報委員会186号編集発行
- 18日 総務委員会
- 22日 あきる野地区委員会
- 25日 事業委員会
 2月12日 経営講習会開催の件
- 27日 理事会
- 27日 平成22年新年会
 西建協創立60周年記念表彰式
 会場:青梅市福祉センター 3階

2 月 事 業 計 画

- 5日 広報委員会187号編集発行
- 12日 三多摩建設業連合会 懇親会 「八王子市内」
- 12日 平成21年度第2回経営講習会
 「建設会館」3階大会議室 15時
 講師 (株)建設経営サービス 山下宏道氏
 テーマ 危機を乗り越えるためにやるべきことを明確化せよ
 主な項目 ・今やるべきことは何か ・目標設定の考え方
 ・目標達成のための行動計画立案と実行のポイント
 ・経営計画の策定・実行手順(経営計画の事例紹介)
- 15日 総務委員会
- 17日 理事会

写真が語る西多摩(今昔)

第10回

◇秋川駅前交差点付近

現在の五日市街道と国道411号(滝山街道)が交差するあたり。昭和57年から取り組まれた土地区画整理事業により、都市化が進み大きく変貌した。

五日市街道を福生方面に向かって撮影。右手に見える森は大塚古墳。(昭和37年当時)

現在の交差点名(秋川)



◇雨間の十字路付近(睦橋通り)

雨間交差点から福生方面を見たところ。睦橋通りとして拡張され、現在のようすは一変した。



《1月27日(木) 理事会報告》

- ①報告事項
 - ・三多摩建設業連合会 懇親会開催
 - ・各委員会事業報告
- ②審議事項
 - ・賛助会員加入の件 承認
 (株)イーエスピー 代表 高橋美作
 羽村市富士見平2-1-5
 - ・新年会及び東京都感謝状贈呈式の件
 式次第及び運営等確認
 - ・平成21年度第2回経営講習会の件
 (青梅商工会議所・建設業部会 後援)

